

2年社会科 歴史 年間指導計画 (55 時間程度) 2025 年度

学期	時限	学習内容・学習活動
第2節 武家政権の内と外		
1 学期	1	蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。
	2	鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。
	3	室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。
	4	琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。
	5	武家政権の内と外の振り返りと自己評価、人々の結びつきが強まる社会の課題設定をする。
第3節 人々の結び付きが強まる社会		
1 学期	6	鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。
	7	応仁の乱をきっかけに各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。
	8	室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
	9	中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまともに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきがなぜ強められたかを考え、話し合う。 中世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり意見交換を行ったりする。
	10	人々の結びつきが強まる社会の振り返りと自己評価、大航海によって結びつく世界の課題設定をする。
第3章 近世 武家政権の展開と世界の動き		
第1節 大航海によって結び付く世界		
1 学期	11	イスラム勢力の広がりによって、キリスト教中心のヨーロッパはどのように変化したのか、十字軍やルネサンスをもとにして考える。
	12	新航路を開拓したヨーロッパの国々によって、世界はどのように変化したのか、地図などの資料をもとに考え、ヨーロッパとアジアや南北アメリカとの関係を図でまとめる。
	13	ヨーロッパとの貿易や交流は、戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか、鉄砲とキリスト教に着目して考える。
第2節 戦乱から全国統一へ		
1 学期	14	織田信長は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。
	15	豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。
	16	織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
第3節 武士による全国支配の完成		
	17	江戸幕府が開かれた経緯と幕藩体制のしくみを理解し、江戸幕府が長く続いた理由を考察する。
	18	幕府は当初、大名や豪商などに朱印状を与えて積極的に貿易を進めていたことを理解し、貿易が推進から統制に変化した理由を、キリスト教との関わりから考察できる。

2 学 期	19	幕府は、長崎、対馬、薩摩、松前の四つの窓口を通して外との貿易を行っていたことを理解するとともに、窓口を限定した理由を考察し、表現できる。
	20	琉球王国は薩摩藩の支配を受けながら、一方で中国に朝貢し貿易していたことを理解し、またアイヌの人々が松前藩と対立した理由を考察し、表現できる。
第4節 天下泰平の世の中		
2 学 期	21	江戸時代の人々は、身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのか、文章や資料などから読み取ってまとめる。
	22	江戸時代の国内産業は、どのように発達していったのか、絵画資料や地図などから読み取ってまとめる。
	23	交通網の整備は、都市や産業の発達にどのような影響を与えたのか、三都を中心とした都市の成長などをふまえながら考える。
	24	江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
第5節 社会の変化と幕府の対策		
2 学 期	25	徳川吉宗はどのような改革を行ったのか、また、貨幣を使う機会が増え、農村ではどのような変化があったのか、文章やグラフなどの資料から読み取ったり、考えたりする。
	26	百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのか、田沼意次と松平定信の政策のちがいに着目させて、表にまとめる。
	27	江戸時代後半には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
第4章 近代 近代国家の歩みと国際社会		
第1節 欧米諸国における「近代化」		
	28	イギリスでの革命や、アメリカの独立戦争によって成立した政治体制とはどのようなものか、資料などから読み取り、表にまとめる。
2 学 期	29	フランス革命によって、社会はどのように変化したのか、啓蒙思想を示す資料や『人権宣言』などから読み取る。
	30	産業革命によって、社会はどのように変化し、またどのような考え方が生まれたのか、絵画資料などをもとに読み取る。
	31	産業革命やフランス革命の影響を受けて、アメリカやドイツ、ロシアではどのような国づくりが行われたか、地図や絵画資料などをもとに読み取る。
	32	欧米諸国は、どのようにして世界へ進出していったのか、イギリスとインドなどの関係を事例として、地図や資料から読み取ったり考えたりする。
第2節 開国と幕府の終わり		
2 学 期	33	世界情勢の変化は、江戸時代の日本にどのような影響を与えたのか、外国船の来航と幕府の対応、アヘン戦争とその影響などを法令や地図などの資料をもとに考える。
	34	飢きんや財政の悪化に対して、諸藩や幕府は、どのような改革を行ったのか、資料などから読み取り、表などにまとめる。
	35	ペリーらの来航により、日本ではどのような変化が起こったのか、資料などから読み取り、経緯を流れ図にまとめる。
	36	武士による政治は、どのように終わりを迎えたのか、戊辰戦争にいたるまでの経緯を資料などから読み取り、流れ図や年表にまとめる。
第3節 明治政府による「近代化」の始まり		
3 学 期	37	明治維新とは、どのような改革・変化だったのか、新政府がどのような国家をめざしたのかを資料などを読み取りながら考える。
	38	日本を欧米諸国に劣らない強い国にするために、どのような政策が行われたのか、新政府が行った殖産興業政策、兵制・税制の改革を中心に資料などから読み取る。

	39	新しい政策や欧米の文化は、人々の生活にどのような影響を与えたのか、絵画資料などから読み取ったり考えたりする。
第4節 近代国家への歩み		
3 学 期	40	新政府は、どのような外交政策を進めたのか、欧米諸国とアジアに対する方針の違いにも着目しながら、地図や資料などから読み取ったり考えたりする。
	41	新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのか、地図や資料などから読み取ったり考えたりする。
	42	人々は意見を政治に反映させるために、どのような活動を展開したのか、地図や地域史の資料などから読み取る。
	43	大日本帝国憲法や帝国議会にはどのような特色があるのか、条文を読んだり選挙のようすを調べたりしながら、その特色を考える。
第5節 帝国主義と日本		
3 学 期	44	帝国主義とはどのような動きや考え方か、長年の条約改正への努力のねらいとは何か、なぜ条約改正の一部が実現したのかについて、当時の国際関係などをふまえながら、地図や資料から読み取る。
	45	日本と中国との間でどのような対立があり、戦争の結果、日本と中国はそれぞれどのようなようになったのか、風刺絵の資料や地図などを活用しながら流れ図でまとめる。
	46	日本とロシアとの間でどのような対立があり、その結果はどうなったのか、風刺絵の資料や地図などを活用しながら関係図でまとめる。
	47	日清・日露戦争後のアジアの人々の意識の変化、韓国や満洲における日本の政策、中華民国の成立の経緯について、資料などから読み取る。
第6節 アジアの強国の光と影		
3 学 期	48	日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのか、地図やグラフなどの資料から読み取る。
	49	工業化が進むなかで、農村や都市での人々の生活はどのように変化したのか、資料などから読み取り、その理由を考える。
	50	明治時代になって、人々の生活や文化はどのように変化したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。